アディノベイト静注用の溶解方法

バックスジェクト II ハイフロー※ を用いた溶解は
シンプル・スピーディ

✓3ステップのシンプルな操作でスピーディに溶解

✓複数バイアルも1本の注射筒で投与可能

✓溶解に問題が生じた場合もトラブルシューティングで対応可能

※製造販売元（輸入元）武田薬品工業株式会社　医療機器製造販売届出番号:13B1X10208000002

再使用禁止

使用上の注意 重要な基本的注意
- 本品を使用される前に、ご使用になる医薬品の添付文書を必ずお読みください。
- 包装を開封後、すぐに使用してください。
- 使用後は感染予防に留意し、安全な方法で処分してください。

操作開始に際する注意
- 包装に破損や本品に異常がある場合は使用しないでください。
- 針先部分が手や衣服等に触れた場合は使用しないでください。

Takeda

シンプル・スピーディ

3ステップのシンプルな操作でスピーディに溶解

ステップ 1

注射用水バイアルを
接続します

ステップ 2

薬剤バイアルを
接続します

ステップ 3

薬液を注射筒へ
移行させます

複数バイアルも1本の注射筒で投与可能です

バックスジェクトⅡハイフローを用いて、患者さんの体重、重症度や出血状態に合わせて2バイアル分の薬液を注射筒に入れることができます。

2バイアルの使用例

500国際単位 ＋ 1000国際単位 ＝ 1500国際単位
1000国際単位 ＋ 2000国際単位 ＝ 3000国際単位
2000国際単位 ＋ 2000国際単位 ＝ 4000国際単位

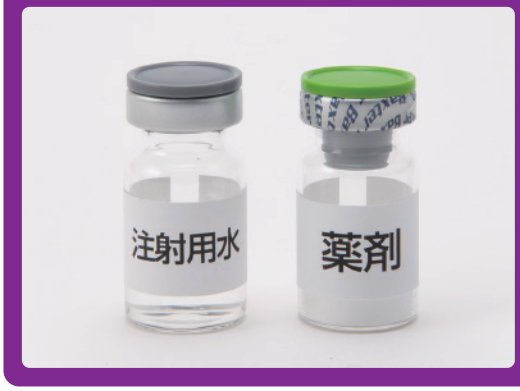
※注射の量については、医師の指示に従ってください。
※アディノベイト静注用には、500国際単位、1000国際単位、2000国際単位の3種類があります。
※2バイアルの場合、1分以上かけて注射してください。

実際の手順

準備をします

- 机の上を清潔にします
- 手を洗います
- 薬剤バイアルと注射用水バイアルを室温に戻します
- ロックタイプ（ねじこみ式）の注射筒をご使用ください

注射用水バイアル　薬剤バイアル



バックスジェクト II ハイフロー

- 注射筒
- ばんそうこう
- 廃棄用袋
- 翼状針
- アルコール綿

バックスジェクト II ハイフローへの接続

薬剤バイアルを接続

注射用水バイアルを接続

注意事項

- バックスジェクト II ハイフローは再使用しないでください。
- 複数の薬剤バイアルを溶解する場合には、その都度新しいバックスジェクト II ハイフローをお使いください。
- 複数バイアル分の薬液を大きな注射筒に吸い取る場合には、手順**ステップ1**、**ステップ2**を繰り返し、注射筒に薬液を入れます。

ステップ
1

注射用水バイアルを接続します

1

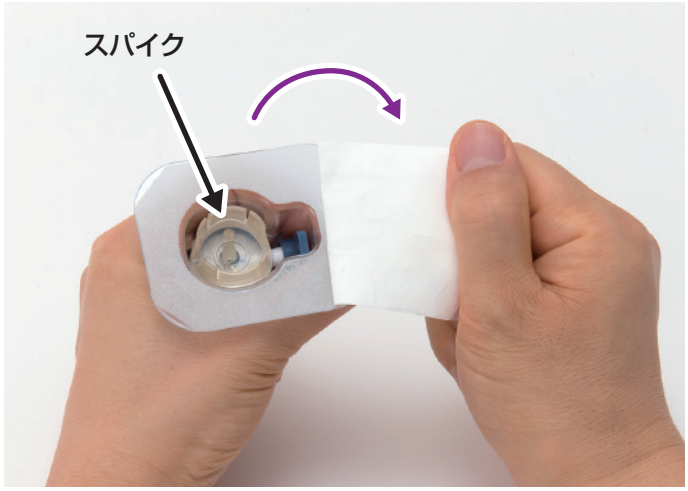
薬剤および注射用水バイアルのキャップをはずし、アルコール綿等で両バイアルのゴム栓を消毒します。

バックスジェクト II ハイフローを刺す順番を間違えないようにするため、**注射用水バイアルを手前に**置きます。

2

バックスジェクト II ハイフローのシールを完全にはがします。

- バックスジェクト II ハイフローをケースから取り出さない
- スパイクに触れない



3

注射用水バイアルのゴム栓中央に垂直に刺します。

薬剤バイアルに間違って刺さないように注意

ステップ

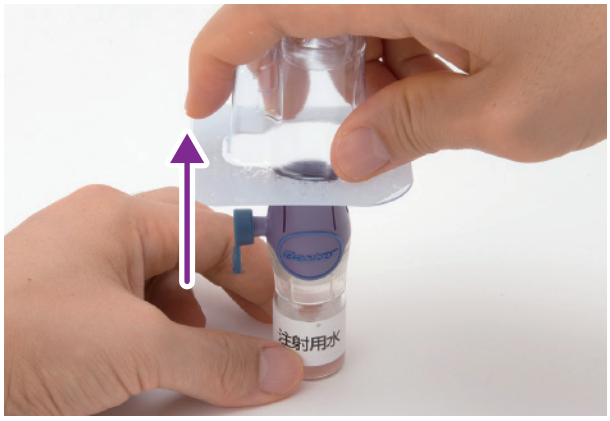
2

薬剤バイアルを接続します

1

バックスジェクト II ハイフローのケースを取りはずします。

スパイクに触れない



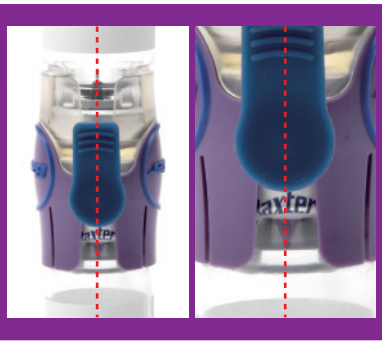
2

注射用水バイアル を逆さまにして、**薬剤バイアル** のゴム栓中央に垂直に刺します。

▲薬剤バイアル内は陰圧になっているので、注射用水が流入します。

ポイント

薬剤バイアルゴム栓の溝とバックスジェクトIIハイフローの保護キャップの位置を合わせます。



注射用水は薬剤バイアルに流入しましたか?

はい

下の[3]へ進みます。

いいえ

7ページ以降の「トラブルシューティング」をご覧ください。

3

バイアルを上下に連結した状態で、泡立てないように、ゆるやかに揺り動かし、薬剤を溶かします。

激しく振らないでください▶

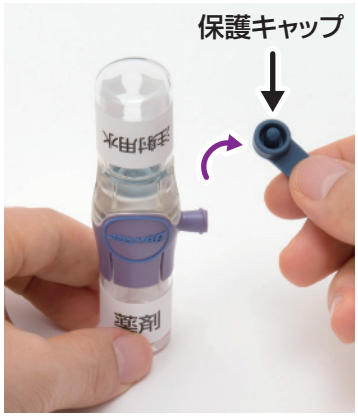
ステップ
3

薬液を注射筒へ移行させます

1

バックスジェクト II ハイフローの保護キャップをはずし、注射筒をねじってはめます。

- 注射筒接続部には触れない
- 注射筒に空気を入れない



2

バイアルを**上下にひっくり返し**、ゆっくりと注射筒の内筒を引き、薬液を移行させます。

ポイント

薬剤バイアルの溝に薬液がたまるように傾けながら操作すると薬液をスムーズに移行できます。

薬液を注射筒に移行すると、薬剤バイアルに泡が残ることがありますが、使用には問題ありません。

3

薬液が全量入ったことを確認し、注射筒をはずします。

注射筒に翼状針をとりつけ、静脈内に投与します。

使用後の医療廃棄物は、医療機関指定の方法で廃棄してください。

溶解に問題が生じた場合も
トラブルシューティングで対応可能

ケース A

注射用水バイアルが**透明側**に接続

注射用水が
薬剤バイアルに流入しない場合

ケース B

注射用水バイアルが**紫側**に接続

注射用水が
薬剤バイアルに流入しない場合

ケース C

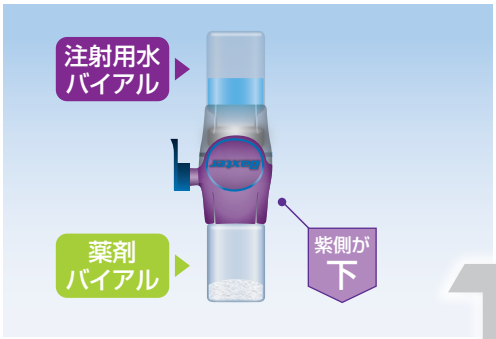
空気を入れた注射筒で操作

薬液の一部が
注射用水バイアルに落ちた場合

ケース A

注射用水バイアルが透明側に接続

注射用水が薬剤バイアルに流入しない場合

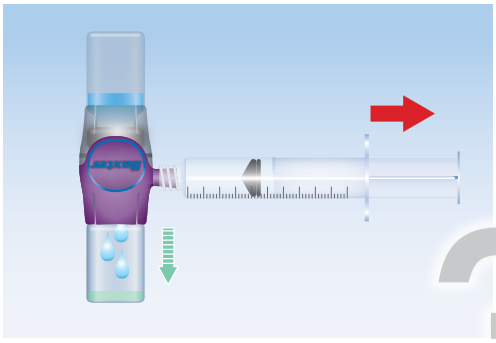


1

注射用水バイアルを上側にします。

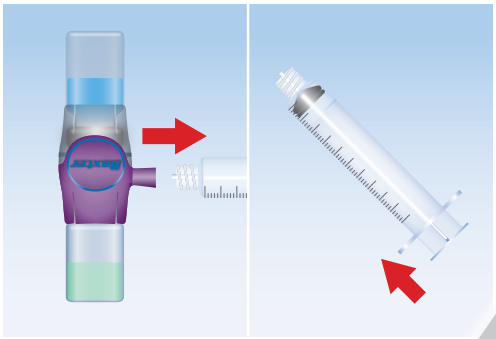
2

注射筒を接続します。



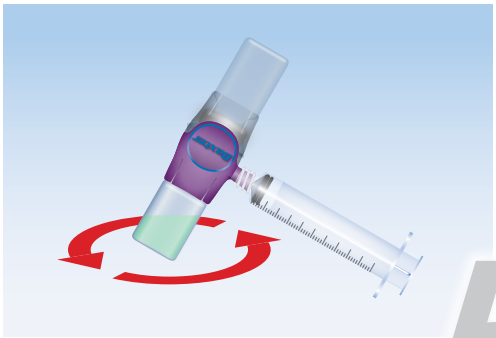
3

注射筒の内筒を引くと注射用水が落ちます。



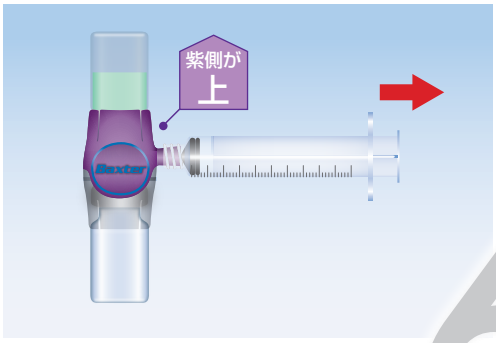
4

注射筒をはずし、内筒を押して空気を抜きます。注射用水の移行が十分でなければ[2]～[4]をくり返します。



5

注射筒を接続し、ゆるやかに揺り動かして薬剤を溶かします。

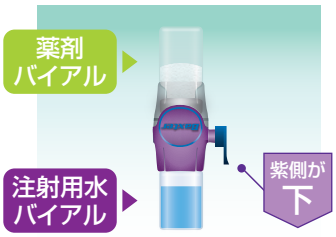


6

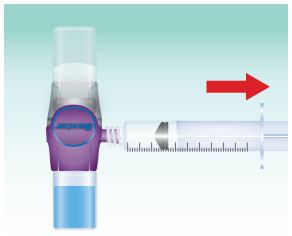
バイアルを上下にひっくり返し、ゆっくりと注射筒の内筒を引くと、薬液が移行します。

ケース B

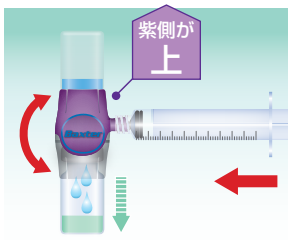
注射用水バイアルが紫側に接続
注射用水が薬剤バイアルに流入しない場合



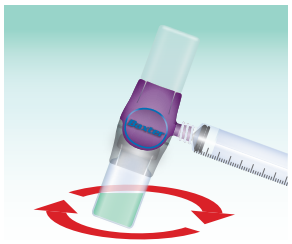
1 注射用水バイアルを下側にします。



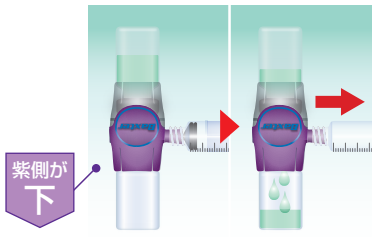
2 注射筒を接続し、内筒を引きます。
注射筒に空気が入ります。



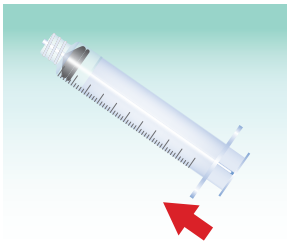
3 バイアルを上下にひっくり返し、注射筒の内筒をゆっくり押します。注射用水が落ちます。



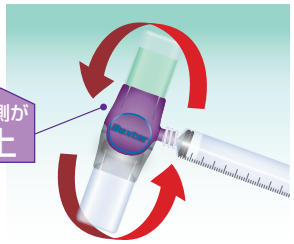
4 ゆるやかに揺り動かして薬剤を溶かします。



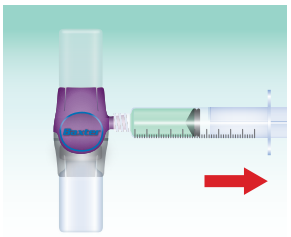
5 バイアルを上下にひっくり返し、注射筒の内筒を引くと薬液が落ちます。



6 注射筒をはずし、内筒を押して注射筒内の空気を抜きます。



7 注射筒を再度接続し、薬剤バイアルを下にします。

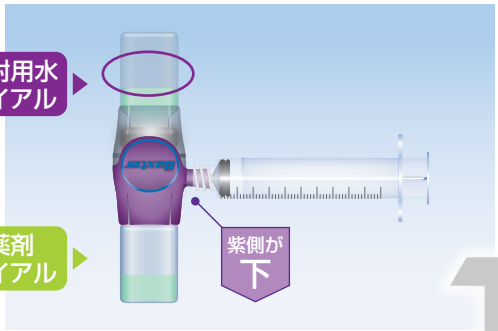


8 ゆっくりと注射筒の内筒を引きます。
薬液が移行します。

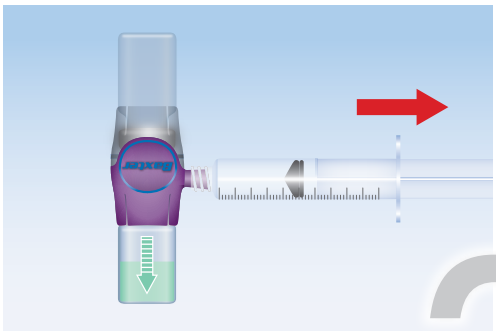
ケース C

空気を入れた注射筒で操作

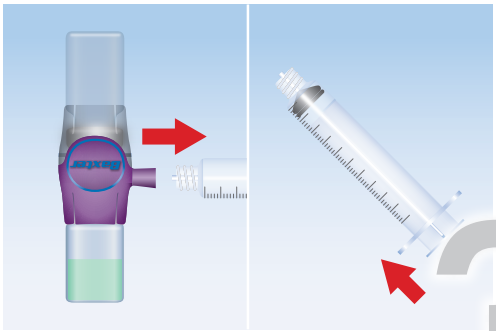
薬液の一部が注射用水バイアルに落ちた場合



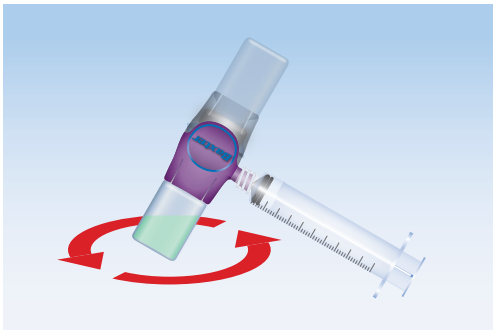
1 注射用水バイアルを上側にします。



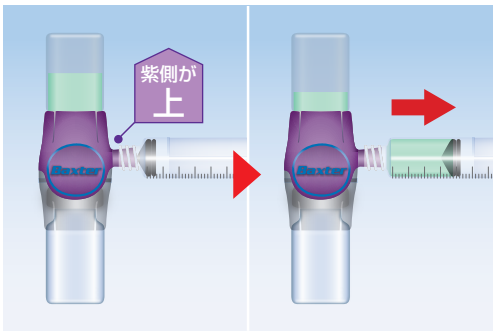
2 注射筒の内筒を引くと薬液が落ちます。



3 注射筒をはずし、内筒を押して注射筒内の空気を抜きます。



4 注射筒を再度接続し、ゆるやかに揺り動かして薬液を均一にします。



5 バイアルを上下にひっくり返し、ゆっくりと注射筒の内筒を引くと、薬液が移行します。

ヘモフィリアステーション

バクスアルタ提供のウェブサイト「ヘモフィリアステーション」は、
血友病患者さんに役立つ情報をご紹介しています。
是非ご活用ください。

http://www.hemophilia-st.jp/

ヘモフィリアステーション で検索

製造販売元（輸入元）
武田薬品工業株式会社
東京都中央区日本橋本町2丁目1番1号

2016年7月作成
M1606080